

**藤田観光株式会社**  
**2019年12月期決算および中期経営計画説明会 質疑応答要旨**  
2020年2月14日(金)実施

【全体】

Q、2020年当初計画から新型コロナウイルス影響により営業利益10億円下方修正しているが、部門別の詳細は？

A、WHG事業で当初計画から営業利益8億5千万円の減益を見込んでおり、大部分がこの事業によるものである。なお、新型コロナウイルス影響が3ヵ月程度続くものと想定した根拠としては、過去のSARS収束状況を参考とした。海外からのエアラインのストップ解除が3月末予定のため、3月末で状況を見定めて、第1四半期決算発表時に最新の情報に変えていきたい。

Q、中計期間5年で250億円の投資額について部門別の詳細は？また、投資が一番重くなるのはいつか？

A、箱根の新ホテルについては約65億円の設備投資を予定、同額程度をホテル椿山荘東京の改装投資を見込んでいる。また、全社的に投資が嵩み、収益に影響するのは2021年である。

【WHG事業】

Q、新型コロナウイルス影響について足元の状況は？

A、中国からの宿泊客は2月10日までの実績で、前年比60%減となっている。ADRについては、昨年の春節が高単価だったこともあり、前年比で10%減少している。

Q、2020年は新型コロナウイルス影響が無ければ当初目標は営業利益33億円、2022年は25億5千万円と、実質減益となっているのはなぜか？

A、2020年については当初、東京オリンピック・パラリンピックの効果を見ていたが、新型コロナウイルス影響により差し引きというかたちになってしまった。

Q、ホテルタビノス浜松町ではどのような手ごたえを感じているのか？

A、ホテルタビノス浜松町はマンガをコンセプトにしたデザインが好評で、稼働率80%程度を確保している。外国人比率は現状約50%で、この比率を高めることにより、ADRをさらに向上させることができると考えており、体験型ローカルツアーの実施などによりブランド認知度向上を図っていく。本年6月開業予定のホテルタビノス浅草についても、同じデザイナーのデザインで客室を作成している。

Q、ホテルグレイスリー、ワシントンホテルの外国人比率は？

A、昨年実績で約45%程度である。

【ラグジュアリー&バンケット事業】

Q、婚礼マーケットが縮小する中で、ホテル椿山荘東京はどのような投資を実施するのか？

A、MICE対応のための宴会場への投資、また、婚礼ではホテル棟の魅力を高めるため、ホテル棟に式場を新設する。さらにラグジュアリー層の朝食満足度を高めるべく、ホテル棟のレストランも改装し、ホテル棟とバンケット棟それぞれのブランドを引き上げていく。

Q、ホテル椿山荘東京での ADR 向上策は？

A、まずはブランド復活のために、商品・人材を強化し、スイートルームを高単価で販売することによって ADR を向上させていく。

Q、ホテル椿山荘東京の婚礼・宴会は単価を下げたマーケットで量を獲得しにいく戦略か？

A、婚礼について全体の件数は下げていくが、大型婚礼等を先行して獲得する方針によって、件あたり人員は上げていく。また、料理を中心とした商品力向上により、ホテル棟・バンケット棟それぞれのブランド価値を高め、単価向上につなげる。

Q、ホテル棟とバンケット棟のマーケティングは別ということか？

A、婚礼だけでなく宴会も別のマーケティングを実施し、ホテル棟とバンケット棟それぞれのターゲットに合わせた商品づくりを行っていく。

#### 【箱根小涌園再開発】

Q、新ホテルが 150 室、単価 1 人 1 万 5 千円に至った経緯や勝算は？

A、箱根エリアでは、ここ 3~5 年の間に高単価レンジの宿泊施設が続々と開業している。天悠については高単価路線で確固たる地位を築きつつあるが、長年の歴史の中で、箱根小涌園は、様々な顧客層に対応できるところが、最もお客さまに支持された点と考えている。そのため、市場性も考えたうえで、新ホテルについては箱根エリアで一番必要な価格帯レンジの施設を目指すこととした。

Q、新ホテル以降の開発の余地は？

A、新ホテル開業後の状況によるが、土地はあり、増築可能のため、今後さらなる拡大をしていきたい。

#### 【その他事業】

Q、その他事業が 2020 年から 2022 年までに営業利益で 6 億円改善しているが内容は？

A、セグメント変更により ISORAS CIKARANG がその他事業のセグメントとなり、その事業成立を見込んでいたためである。

以上